

きれいな山梨

No.77 JULY 2017

環境パートナーシップやまなしは、県民・事業者・行政のパートナーシップ（協働）のもと、団体間の連携や情報交換の場づくりなどを通じて、自主的な環境保全活動を積極的に展開していくことを目的として様々な活動を行っています。環境保全に関する活動を積極的に行っている団体、個人のみなさまのご入会をお待ちしています。

環境パートナーシップやまなし

事務局 ●〒400-8501 山梨県甲府市丸の内1丁目6-1 山梨県森林環境総務課内
TEL.055-223-1657 FAX.055-223-1636 ✉sinkan-som@pref.yamanashi.lg.jp
ホームページ [「パートナーシップやまなし」検索](#)



古紙配合率100%再生紙を使用しています

発行責任者 ●企画委員長 河野行秀

平成29年度定期総会を開催

平成29年度定期総会を、6月3日（土）、山梨県防災新館やまなしプラザで開催しました。

議事では、平成28年度事業報告・収支決算報告、平成29年度事業計画・収支予算について原案どおり承認されました。

役員・企画委員

会長	坂本 政彦	(一社)山梨県トラック協会			
副会長	大澤 英二	山梨県ボランティア協会	野口 英一	(公財)富士山をきれいにする会	
	進邦 徹夫	山梨県PTA協議会	關本 得郎	山梨県農業協同組合中央会	
	中澤 晴親	日本労働組合総連合会山梨県連合会	小林 明	山梨県商工会議所連合会	
監事	浅野 正一	(一社)山梨県建設業協会	辻 一幸	(一社)山梨県森林協会	
企画委員長	河野 行秀	山梨県商工会連合会			
企画委員	飯窪 さかえ	山梨県女性団体協議会	小林 登	環境に関する企業連絡協議会	
	伊藤 祐寛	山梨県専修学校各種学校協会	仲澤 早苗	山梨県消費生活研究会連絡協議会	
	黒田 光秀	学識経験者(クロダ株)	西澤 充	(一社)山梨県労働者福祉協会	
	齋藤 紳悟	(公社)山梨県私学教育振興会	雨宮 一夫	山梨県自然保護教育振興会	
	志村 昭子	山梨県生活研究グループ連絡協議会	安井 日出夫	(一社)山梨県老人クラブ連合会	
	志村 宏司	パルシステム山梨	依田 茂己	山梨県青少年団体連絡協議会	
顧問	宮川 睦武	山梨県中小企業団体中央会			

平成29年度事業計画

1. 活動情報の交換及びネットワークづくりのための事業

(1) 広報誌の発行

- ・会員向けの会報的なものとし、年4回の発行を基本とします。
- ・会員相互のパートナーシップを深めるため、本会の活動計画や活動報告を掲載します。
- ・会員紹介や会員の特徴のある活動をPRし、環境活動を広めていきます。

(2) 会員の募集

- ・積極的な広報活動を行い、より一層の会員の拡大（募集）を図ります。

(3) ネットワークづくりのための検討

- ・会員のネットワーク化及び主体的な事業参画に向けての検討を行います。

2. 3R・温暖化防止対策実践活動推進のための事業

・エコライフお絵かき・川柳コンテストの開催

・3R推進、地球温暖化防止に関するネットワークフォーラムの開催

県民への意識の定着化を進めるため、関係団体に働きかけ、エコライフの普及や地球温暖化防止に関するネットワークフォーラムを開催します。

・県民の日記念行事におけるごみ減量化運動

県民の日記念行事がごみの出ないイベントとなるよう、ごみの持ち帰りパレードを実施します。

・環境に関するイベント等の実施

県民の日記念行事等のイベントにおいて環境パートナーシップやまなしのブースを設置し、本会のPRや活動内容の紹介等を実施します。

3. その他

・今日的な行政課題解決のための協働事業

・県事業との協働及び民間活動団体に対する後援等によるネットワークの拡充「やまなしクリーンキャンペーン」、「やまなし育水県民大会」、「人と環境にやさしい交通」県民運動、「ボランティア・NPO活動推進月間」「やまなしエコライフ県民運動」などに積極的に参画し、実践活動を行っています。

COLUMN コラム

萩原 智子



山梨県甲府市出身で水泳選手の私。周りからは「海のない県」に生まれた私がスイマーになったことで驚かれることも多かった。しかし私は年を重ね、気づけたことがある。山梨県は「海のない県」だが、山梨県は「水の生まれる県」だという素晴らしい事実。私は豊かな水の生まれる場所で世界を目指すことができた。

現役を退いてから様々な経験をし、あらためて水の存在について考える時間があった。綺麗な水のプールで泳げる喜びと感謝。綺麗な水があることは、当たり前ではなく、ありがたいことだと実感。その想いを子供たちと一緒に共有したいと、3年前から「水ケーション～森と水の授業～」を立ち上げた。水ケーションとは、水とCommunication(通じ合う)、Education(教育)の意味を込めた造語だ。今年度は、全国7か所で開催することができた。

私のやってきた水泳は、飲み水がなくなれば一番初めになくなるスポーツだ。水を育む森、森を育む水。そして森と水が私たちを育ててくれる事実。幼い頃は、この豊かな自然があることが当たり前過ぎて何も感じなかった。しかし様々な国や地域を訪れるようになり、少しずつ視野が広がり、故郷の環境について考えられるようになった。自然に恵まれている、特別な環境だということを実感した。なかなか気づくことができない「当たり前＝ありがとう」の気持ち。私は水を通じて学ぶことができた。子供達に想いを押し付けるつもりはない。少しでも何かを感じ、考えるきっかけになれば、嬉しく思う。

Profile

プロフィール

名前 萩原智子 (はぎわら・ともこ)
生年月日 1980年4月13日
肩書 日本水泳連盟理事
出身地 山梨

出身校 山梨学院大学附属高等学校
山梨学院大学
山梨学院大学大学院

中学3年生時に、海外遠征カナダ選手権200m背泳ぎで、当時、日本歴代2位となる日本中学新記録樹立。

高校インターハイでは、200m背泳ぎで、3連覇達成。同年アジア競技大会では、個人、リレー種目で、3個の金メダルを獲得。

2000年シドニー五輪、200m背泳ぎ4位、200m個人メドレー8位入賞。2002年日本選手権では、100m、200m自由形、200m背泳ぎ、200m個人メドレーで史上初の4冠達成。「ハギトモ」の愛称で親しまれ、2004年現役引退。5年の歳月を経て、2009年現役復帰宣言。復帰レースとなった新潟国民体育大会では大会新記録で優勝。

翌年2010年には、30歳にして日本代表に振り返った。同年、ワールドカップ東京大会で50m自由形、100m個人メドレーで、

短水路日本新記録を樹立。
2012年2月のJAPAN OPENでは、50m自由形で短水路日本記録を樹立。

2013年6月、日本水泳連盟理事に就任。
2015年、2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員に就任。

現在は、テレビ・ラジオ出演や水泳の解説のほか、自ら現場に行き取材を行い、ライターとしても活動の幅を広げている。

メディア出演のほかにも、これまでの人生経験をもとに講演活動を行うほか、改めて、自身を育ててくれた「水」に感謝し、水泳教室はもとより、「水の大切さ」や「水の教育」にも取り組む水でエデュケーション・コミュニケーションする「水ケーション」の活動にも注力している。また山梨県、福島県、愛知県で水泳大会「萩原智子杯」も開催している。

お知らせ

「きれいな甲斐」は、送付方法を①郵送、②メール配信、③県ホームページからダウンロードの3種類から選択できます。現在の送付方法から変更を希望される方は、事務局までご連絡ください。

環境パートナーシップやまなし事務局(県森林環境総務課内)

TEL:055-223-1657/FAX:055-223-1636 E-mail:sinkan-som@pref.yamanashi.lg.jp

投稿募集中

【会員紹介コーナー】

①A5判程度で、原稿と写真等を入れて構成してください。②団体等の名称、所在地(事務局または事務所)、連絡先を必ずお書きください。③内容は、活動紹介やPRなど自由です。④締め切りは特にありません。

【行事予定】

○主催団体名、日時、場所、内容、申込み方法、連絡先等をお教えてください。

森林はきれいな水や空気を生み出し、土砂崩れなどの災害から私たちを守り、心の安らぎを与えてくれるなど、様々な働きをしています。また、近年では地球温暖化防止に果たす森林の役割が注目され、森林の持つ働きへの期待が一層高まっています。

私たち山梨県緑化推進機構は、県民の皆様からお寄せいただいた「緑の募金※」を活用して、こうした働きを一層高めるための森林整備の推進、生活に潤いをもたらす緑化の推進、さらに、将来の緑づくりを担う青少年の育成など、様々な取り組みを進めています。

緑の募金公募事業

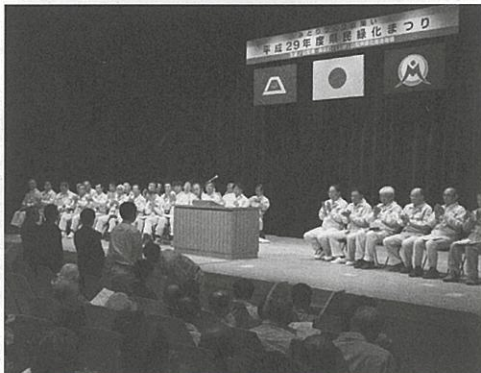
皆様から寄せられた緑の募金で、水源林の整備から地域の環境緑化まで幅広い活動の支援を行うものです。

主な事業

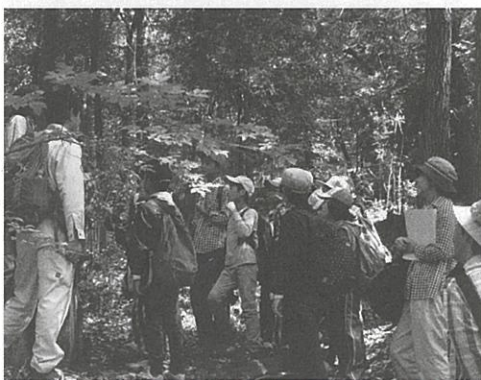
- 森林整備公募事業
(水源林整備事業、学校林整備・保全推進事業など)
- 緑化推進公募事業
(緑の少年隊育成事業、学校緑化の推進事業など)
- 市町村緑化推進組織活動事業
(市町村組織が行う緑化推進活動を支援)
- 国際緑化協力事業
(民間団体が海外で実施する緑化推進活動を支援)
- その他森林整備事業
(地域住民等による森林づくり活動などを支援)



街頭緑化キャンペーン



県民緑化まつり式典行事



緑の少年隊森林学習会

緑の募金直営事業

公益財団法人の基本財産運用益や、様々な助成金を活用して、緑化の推進に関わる普及啓発事業を行うものです。

主な事業

- 森林の教材「くらしと森林」
(小学5年生の社会科副読本) 発行
- 街頭緑化キャンペーン
(県民の皆様の緑への意識を高める活動)
- 県民緑化まつり
(緑づくりの普及啓発などの式典行事と植樹活動)
- 森林ふれあいウォーク
(国民の祝日「山の日」記念行事)
- やまなし森づくりコミッション支援事業
(県民、企業、団体などが行う森づくり活動の支援)
- 緑の少年隊山梨県連盟支援事業
(緑化活動を行う緑の少年隊の活動の支援) など

※「緑の募金」とは、森林整備等の推進に用いることを目的として募集する寄附金で、「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」に規定されています。

ホームページ

公益財団法人 山梨県緑化推進機構

検索